2026年11月11日

各　位

第46回医療情報学連合大会におけるAIHOBS社の展示に販売パートナーとして参加

～医療情報分野の国内有数の学術大会において、AIHOBS社製品の理解促進及び医療機関の導入検討を支援～

当社は、株式会社AIHOBS（以下「AIHOBS社」）が、2026年11月13日（金）から11月15日（日）まで札幌コンベンションセンターで開催される「第46回医療情報学連合大会」に出展するにあたり、AIHOBS社の販売パートナーとして、当社担当者が同社の展示ブースに参加し、製品紹介及び来場者への対応を行うこととなりましたので、お知らせいたします。

当社は、2026年11月４日付「医療機関向けネットワークセキュリティサービス『Digital Trust Grid』の販売を開始」にてお知らせしたとおり、AIHOBS社が展開する医療機関向けネットワークセキュリティサービスの販売を開始しております。



＊大会公式サイト：https://www.jcmi46.org/index.html

同大会では、AIHOBS社が共催するランチョンセミナー14「ここまで出来る！『医療AIX（AI・DX）最前線』と“インテリジェントゲートウェイ”の重要性」が開催されます。詳細情報は添付別紙をご参照ください。

当社は、医療機関向けシステム・機器の販売や導入支援を通じて培ってきた知見と医療機関との接点を生かし、AIHOBS社との連携を通じて、医療機関のネットワーク環境の整備及びサイバーセキュリティ対策の支援に取り組んでまいります。

【ＡＩＨＯＢＳ社出展について】

開催期間　：2026年11月13日(金)～11月15日(日)
会場　　：札幌コンベンションセンター（北海道札幌市白石区東札幌６条１丁目１-１）
展示ブース：①-24（１階・大ホール）
展示日時　：11月13日（金）9:00～17:40
　　11月14日（土）9:00～18:00
　　11月15日（日）8:45～15:30

※大会への参加には、所定の参加登録及び参加費が必要となります。参加登録方法や詳細については、大会公式サイトをご確認ください。
大会公式サイト：https://www.jcmi46.org/index.html

▶株式会社AIHOBSについて（https://www.aihobs.com）

【会社概要】
会社名：株式会社イメージワン
所在地：東京都品川区大崎1-6-3
代表者：代表取締役社長 川倉 歩
事業内容：ヘルスケアソリューション事業、地球環境ソリューション事業
公式サイト：https://www.imageone.co.jp/
IR note：https://note.com/imageone_2667/all

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社イメージワン
https://www.imageone.co.jp/inquiry/general/

以　上

第46回

医療情報学連合大会

（第27回日本医療情報学会学術大会）

AIHOBS
AI Health Orchestration Beyond Silos



ランチョンセミナー14 のご案内

医療AI・DXとインテリジェント ゲートウェイ

2026年
11.14（土）
札幌コンベンションセンター

12:20 - 13:20
B会場　1階・大ホールC

ここまで出来る！
「医療AIX（AI・DX）最前線」と
“インテリジェント ゲートウェイ”の重要性

座長　**八田 泰秀**　株式会社AIHOBS

演題1　**「Medical Intelligent Gateway」が実現する AI開発の内製化と継続的進化**

森川 富昭 先生
学校法人藤田学園／藤田医科大学

演題2　**院内情報を「ととのえ・つなぎ・つかう」ことで 実現する病院運営の質向上と効率化**

尾﨑 勝彦 先生
一般社団法人徳洲会

共催セミナーの事前登録受付中

大会参加登録後、マイページからお申込みください。

申込締切　11月5日（木）17:00

共催：株式会社AIHOBS　展示ブースにも出展します。

大会会期 2026年11月12日（木）～15日（日）

大会公式サイト
jcmi46.org

講演内容のご紹介

AIHOBS
AI Health Orchestration Beyond Silos

演題1　「Medical Intelligent Gateway」が実現する AI開発の内製化と継続的進化

森川 富昭 先生

学校法人藤田学園／藤田医科大学　理事長補佐

医療AIX（AI＋DX）の推進には、院内に蓄積されたデータを現場の課題解決に生かす環境が不可欠である。本講演では、Medical Intelligent GatewayとAI統合環境ANDY（Agentic / Next-generation / Data-driven / Yielding-results）を通じた、データ利活用とAI開発の内製化について紹介する。電子カルテや部門システムのデータをつなぎ、BIダッシュボードによる可視化・分析や、データを活用した業務支援ソフトウェアの開発へと展開する。医療職と情報部門が協働し、現場の着想を試作・評価・実装につなげるとともに、運用後も改善を重ねる仕組みを示す。さらに、個人情報保護やアクセス管理などのガバナンスを組み込み、安全な利活用を支える。データから課題を見いだし、自ら解決策をつくり育てる循環を通じて、診療と病院運営の一層の質向上を目指す。

演題2　院内情報を「ととのえ・つなぎ・つかう」ことで 実現する病院運営の質向上と効率化

尾﨑 勝彦 先生

一般社団法人徳洲会　特別顧問

徳洲会グループは、電子カルテ・人事給与・医薬品・材料など、病院運営に関わる情報を「ととのえ、つなぎ、つかう」ことで、運営の質向上と効率化を実現してきた。８４病院への電子カルテ統一と閉域ネットワーク整備により、診療・経営・人事・物品などのデータを安全に一元化し、BIツールで、経営分析、臨床指標、医療安全、業務量、患者満足度、人事指標など、現場の意思決定を支援する仕組みを展開するとともに、病院・科・部門・個人単位の詳細分析を可能にしている。近年はAI活用を本格化し、退院サマリ・看護サマリ・紹介状・症状詳記の自動生成、画像診断AIの全病院展開、RAGや音声文字起こしなどを導入。生成AIの利用状況をBIで可視化し、PDCAを回すことで、医師・看護師・コメディカル・事務などの業務負担軽減と質向上を両立している。また、臨床研究データベースやAI予測モデル開発にも活用し、医療の質向上とAX推進を進め、病院運営に役立てている。

共催：株式会社AIHOBS

〒108-0075 東京都港区港南2丁目16-1 品川イーストワンタワー7F

https://www.aihobs.com/　　otoiawase@aihobs.com